

学習集団形成のプロセスと支援

平成29年8月3日(木曜日)

担当講師：野島正也(文教大学学園)

I 個人学習と集団学習 ～相互補完的な学習形態

①個人学習

- ・独学 意志強固な人にとって誇らしい学習形態。だが、挫折、孤立も
- ・個人学習の支援 → 図書館、博物館系施設、社会通信教育、講演(集会学習) …

②集団学習

- ・公民館等で実施される講座・教室・塾等(学習集団の意図的形成)
- ・自主的学習集団(公民館サークル、PTA、青年・高齢者組織、異業種交流会…)
- ・見て学ぶ、聞いて学ぶ、やってみる、教えて学ぶ

II 学習集団形成のプロセス

学習集団は、一般的に次のような形成のプロセスをたどる(講座を例に)。

(カッコ内、企画者・指導者による支援のポイント)

①メンバーの集合

さまざまな学習動機と学習目的をもって学習者が集まってくる。形式的に集団のメンバー(成員)がそろふ段階。(募集)

②混乱期

メンバーそれぞれが自らの思いを表出し、意見を出し合う段階。相互作用のなかで集団の一員としての意識が引き出される。多くの場合、意思疎通の難しさや価値観の対立等から混乱や葛藤がみられる。(受容)

③規範期

メンバーのなかに共感、連帯感、秩序が形成される段階。「われわれ意識」(we consciousness)も醸成される。(支持)

④活動期

高い水準で安定した活動を展開する段階。メンバーが互いに責任と役割を自覚し、集団を通して自発性・創造性を発揮する。自然的にファシリテーターが発生。(助言)

⑤発展期

講座終了後、受講者の発意で自主的集団が生まれ、以後、さまざまな地域課題を取り込んで活動が広がる。(後見)

Ⅲ 学習集団が学習者に与える効用

①居場所の提供

グループに所属することにより安心感・安定感が得られる。交流により、心を癒される効果ももつ。「私にとって“中洲の葦”のようなところ」

②相互刺激による学習

メンバー同士が、「まねる」こと、「聞く」こと、「実践する」こと、「教える」ことを通して学びを発展させる。指導者がいる場合、学びに「スコープ」(scope)と「シーケンス」(sequence)の要素が加わる。

③創出的な学習に参加

相互の刺激が一人一人に留まらず、新しい創造的な学習場面を作り出す。誘い合って自発的な地域見学や体験活動に発展する。

Ⅳ 社会教育事業における学習集団形成の実際

1 講座・教室の運営方針 ～学習グループ化に向けた講座運営～

①学習者の企画・運営への参加

②グループ学習体験の蓄積

③話し合い、発表、ワークショップなどのアクティブな学習方法の習得

2 社会教育施設における学習機会の提供

①公民館等における学習グループ(通称・サークル)の育成

～学級・講座、各種イベントと並んで、公民館事業の3大柱を形成

②図書館・博物館系施設におけるグループ(「友の会」等)の育成

～親睦、学習、施設ボランティアなどの活動を展開

3 地域学習集団への支援

①事業実施の支援

- ・NPOなどによる公益性の高い事業に対する助成・委託・共催・後援等

②活動場所の提供

- ・とくに定期的に活動するサークルには、施設使用料の減免対応も

③指導者・リーダー・会員への研修機会の提供

- ・集団形成、マネジメント、リーダーシップ、社会教育施設利用等に関する研修

④活動の発表の場の提供

- ・地域の催し、生涯学習の集い、公民館まつり、広報紙等での活動情報の公開

4 学習集団自身の運営努力

①集団の魅力の発揮（3つの機会）

- i 新しいことに接する機会（学び）
- ii 人と交わる機会（おしゃべり、相談、受け止め）
- iii 人に認められる機会（自分に自信が、相手に信頼が）

②運営の定期点検（retreat）

- i サークルの基本的な取り決め（会則事項）
 - ・組織、役員決め方・任期（区切り）、会費…
- ii 活動の振り返り
 - ・活動内容・時期、成果の発表・評価、人間関係、将来展望…

V 公民館等の学習サークルへの期待

1 講師・コーチによる「私塾化」の問題

①基本的な考え方

- ・講師による営利事業は法の趣旨に違反（社教法23条）
- ・サークル運営は会員全員で（役員を中心に、講師を助言者にして）

②指導に対する謝礼の考え方

- i 無償（まったくのボランティアもあるが、稀。交通費は会員が持つことも）
- ii 僅償（会員の謝意の表れとして、若干の礼金等）
- iii 有償（実働分の講師料）

2 地域に関わる活動へ

- ①公民館まつり等のイベントの企画と実施
- ②公民館、文化会館・コミセン、福祉施設等の講座、教室での指導・助言
- ③地域活動への参画（NPO、地域行事、子供の土日活動の支援等）
- ④学校支援ボランティアの活動、放課後子供教室、土曜学習応援団での指導等
- ⑤生き方モデルとして周囲に好影響（はつらつさ、ライフキャリアの視野）

3 学習集団形成のゴール

- ・公民館等が創り出す「好縁」＝「学びの縁」～コミュニティづくりのカナメに

